

## 心臓血管センターからのお知らせ

- **大動脈弁狭窄症に対するカテーテルを用いた大動脈弁置換術 (TAVI: Transcatheter Aortic Valve Implantation) 担当医が、今年度から3人体制となりました。**
- **心臓弁膜症の方は、どんな症例でもお任せください。**

平素より当院へのご支援を賜り、誠にありがとうございます。

大動脈弁狭窄症に対するカテーテルを用いた大動脈弁置換術 (TAVI: Transcatheter Aortic Valve Implantation)は、わが国では2013年より保険適応となり、当院では2014年10月より施行して参りました。

当初は高齢で外科的大動脈弁置換術 (SAVR: Surgical Aortic Valve Replacement)が不可能あるいはリスクが高い患者のみに施行する治療として始まりましたが、デバイスの改良や手技の成熟とともに年々適応が広がってきております。

2019年に、手術リスクの低い患者に対するTAVIとSAVRを比較したランダム試験の結果が複数発表されました。それらの結果では、30日時点での死亡、脳梗塞の複合エンドポイントはSAVRに比べTAVIの方が有意に低いことが示されました。また、5年成績では、TAVIのSAVRに対する非劣性が示されています。

2020年に改訂されました日本循環器学会のガイドラインで、TAVIはSAVRのリスクが低い患者にも選択肢となりました。TAVIは10年を超える生体弁の耐久性のデータが不足しており、TAVIとSAVRの選択に関しては、総合的な判断が必要であり、ハートチームで決定していく必要があります。

当院ハートチームでは、大動脈弁狭窄症以外の弁膜症の方も、適切にfollowおよび治療をさせていただきます。

心不全症状を認めない患者様でも、心雑音が聞こえるようでしたら、一度当院循環器内科を受診していただければと思います。

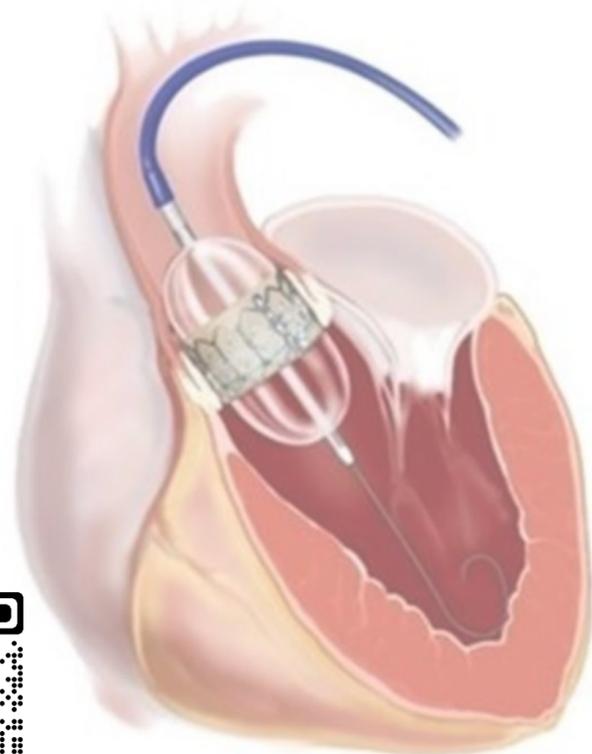
今後とも御指導御鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。

地域医療連携室 室長(循環器内科部長)

為清 博道



(循環器内科HP)



# 心臓弁膜症の方は、どんな症例でもお任せください

2020年3月に、日本循環器学会の「弁膜症治療のガイドライン」が改訂され、**大動脈弁狭窄症のTAVI適応が拡大されました。**

## \* 80歳以上の患者様

外科手術リスク問わずTAVI治療をまず考慮するよう推奨されております。

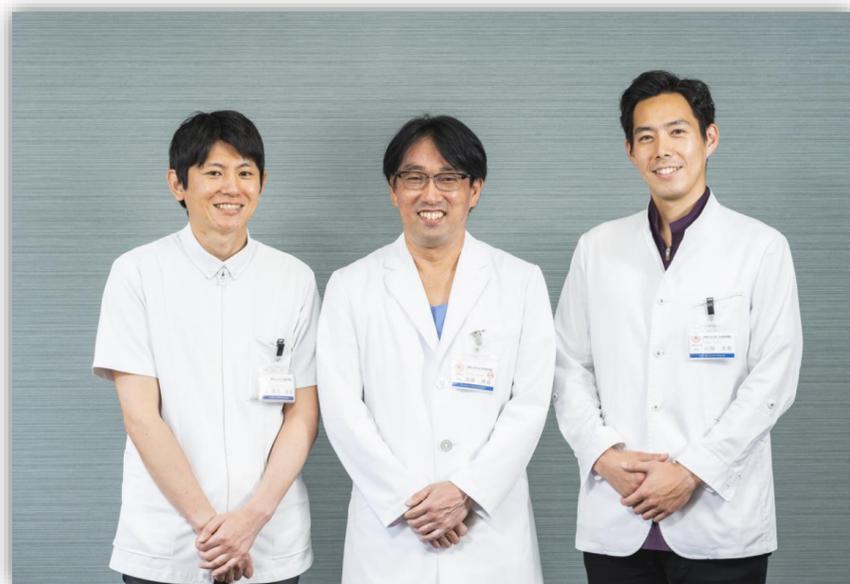
## \* 75歳～80歳の患者様

外科手術のリスク、TAVI治療に適した弁および血管の状態か、ハートチームで協議を行った上で治療方針を決定することが推奨されております。

大動脈弁狭窄症に対する治療法としては、以下の3つの選択肢があります。(外科的治療は次ページ) 患者様のご希望なども確認し、ハートチームの力を結集し、患者様にとって最適な医療を提供いたします。



『TAVIのおはなし』エドワーズライフサイエンス株式会社より



TAVI担当医：(写真左から) 望月慎吾、為清博道、山根吉貴

## 【心臓血管センター 外来担当一覧】

診療科	区分	月	火	水	木	金	
循環器内科	午前	一般 初診	為清 博道(TAVI紹介含む)	藤原 舞	三宅 康子	石橋 堅	山根 健一
		一般 再診	山根 健一	為清 博道(TAVI紹介含む)	林 康彦	前田 潤二	石橋 堅
			坂井 拓海				石田 俊介
		不整脈 初診		村岡 裕司	藤原 舞	尾木 浩	村岡 裕司
				尾木 浩			
				藤原 舞			
		不整脈 再診		村岡 裕司	藤原 舞	村岡 裕司	
			尾木 浩		尾木 浩		
	特殊外来				尾木 浩		
	午後	特殊外来		為清 博道			
心臓血管外科	午前	望月 高明	望月 慎吾	古川 智邦	古川 智邦	望月 高明	
		望月 慎吾		山根 吉貴(再診のみ)			
	午後	山田 和紀		望月 高明	古川 智邦	山田 和紀	

● TAVI受診予約⇒月・火曜日 循環器内科 為清博道

● 緊急症例 問い合わせ先 ※24時間対応可能

循環器内科ホットライン：080-1908-6660(直通)

心臓血管外科：082-243-9191(代表)

# 安全と低侵襲を両立したベストな治療法の選択を!!

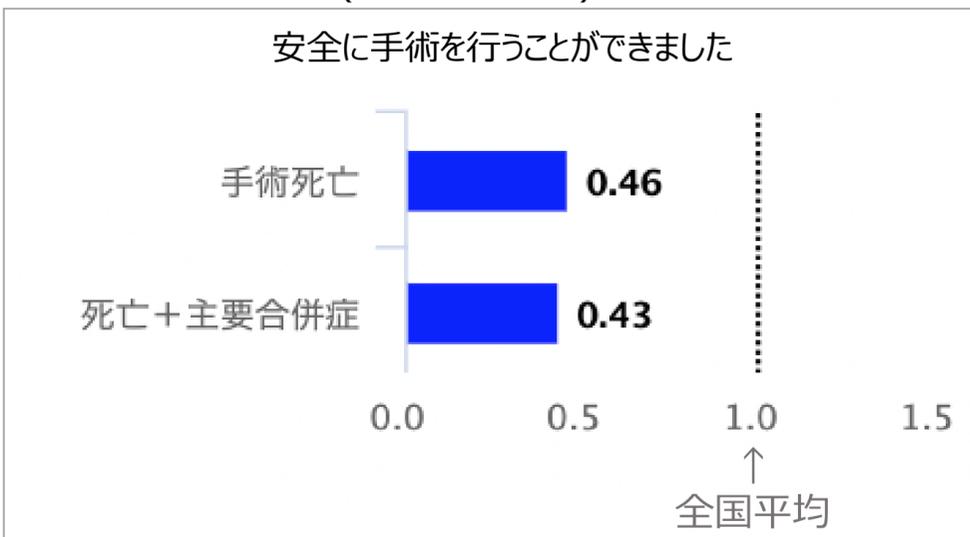
当院では心臓弁膜症に対する外科的治療として、僧帽弁・大動脈弁には『低侵襲心臓手術(MICS)』、手術時間の短縮が可能な『大動脈弁置換術(Rapid-deploy AVR)』、狭小弁輪に対して『弁輪拡大手術』を行うなど、様々な手術を行っています。

県内トップクラスの経験と実績で、一人一人の患者様の病態や状況に合わせた治療法を提案いたします。

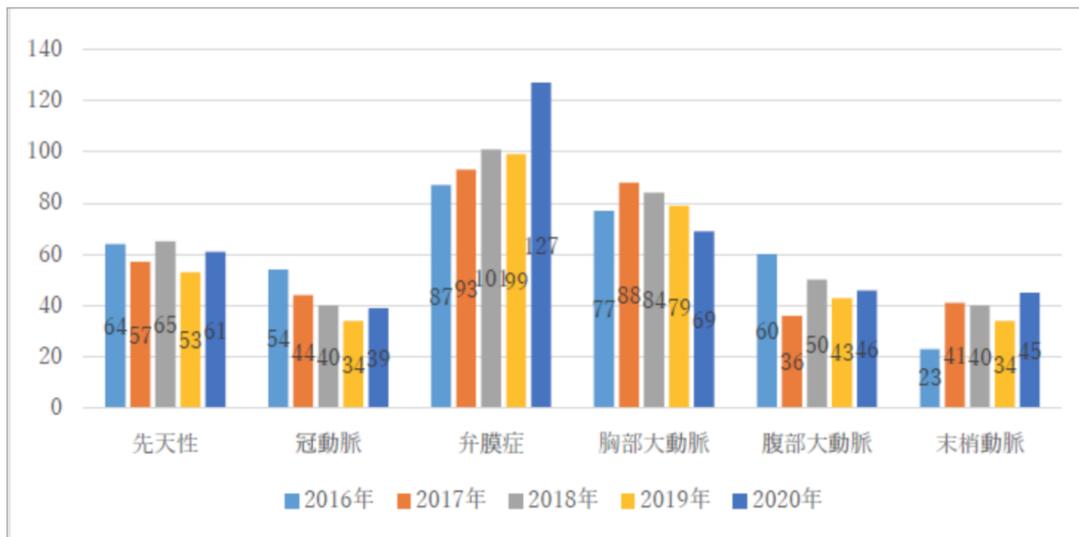


(心臓血管外科HP)

\*\* 当院の手術成績 (2019-2020年) \*\*

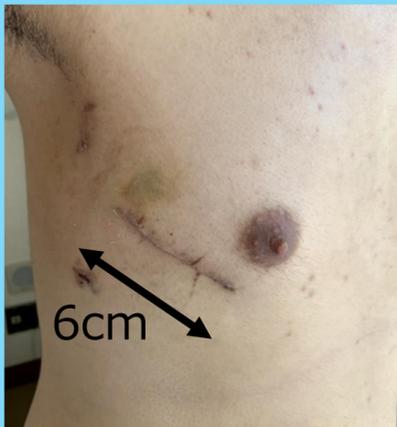


\*\* 手術数の内訳 \*\*



## MICS (僧帽弁・大動脈弁)

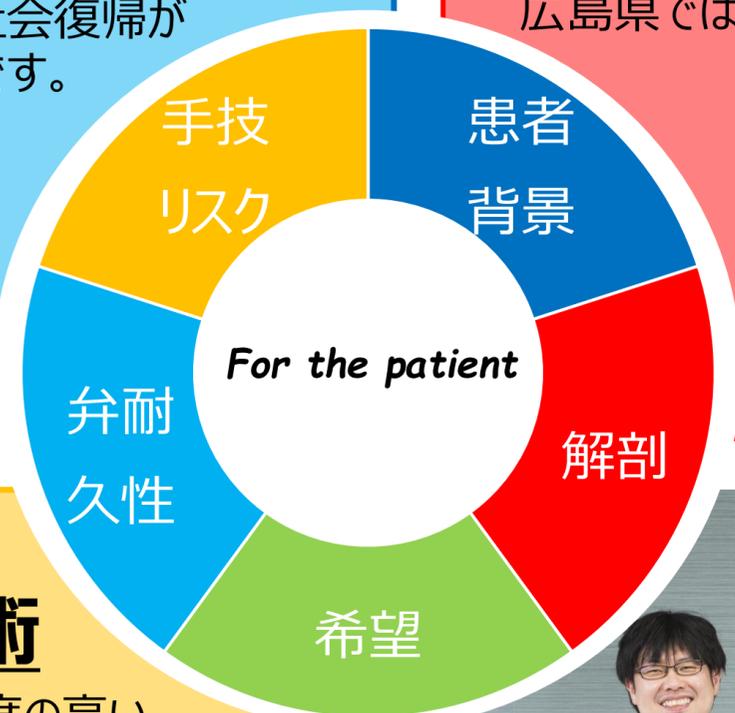
胸部正中切開を行わない低侵襲手術です。安全に行える場合は積極的に行います。



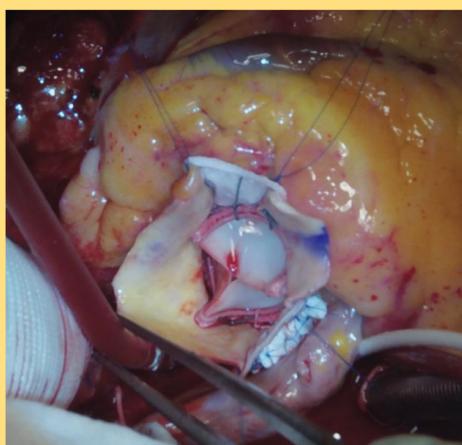
傷が小さく、早い社会復帰が可能です。

## Rapid-deploy AVR

縫合結紮の少ない人工弁です。MICSとの併用で、より心臓に負担の少ない手術を行うことができます。広島県では最初に取り入れました。



## 狭小弁輪に対する 弁輪拡大手術



難易度の高い手術も実績が豊富です。遠隔期の機能も考慮した手術を心がけています。



心臓血管外科一同：(前列左から) 古川、山田 (後列左から) 大窪、山根、望月、徳本

# 書籍紹介

## 移植医療の啓発のために－電子書籍「たすき」出版

小児科 田原昌博

この度、小説を出版させて頂きました。

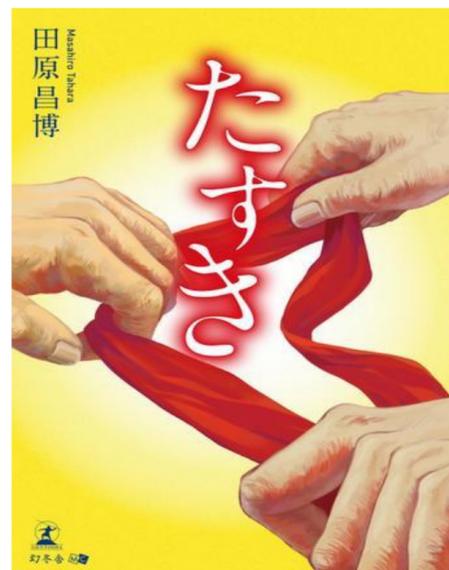
内容は、駅伝好きの少年の家族に生じた心臓移植にまつわるお話です。

現在、臓器移植を必要とする患者の数に対して、ドナーの数はまだまだ少ないとされています。医療者であれば臓器提供意思表示カードは知っていて当たり前なのですが、一般の方にはその存在すら知らないという人も結構多く存在しています。これは、移植医療というものを知る機会が少ないことも原因と考えられます。

2012年に当院からの渡航移植を経験させて頂いて以来、もっと多くの人に移植医療について関心を持ってもらいたいとずっと考えていました。移植医療において、作中にもあるように家族や学校で話し合う機会を設けることはとても大事な事だと思っています。そのため、中高生にも分かりやすいように書いたつもりです。決して臓器提供に偏る必要はなく、移植医療について正しく認識してほしいと思っています。

専門の先生からみたら、「それはないだろ！」と思うようなところもあるかもしれませんが、フィクションですのでご容赦お願いします。

拙い文章ですが、多くの人に読んで頂き、移植医療について考えるきっかけの一つになれば幸いです。宜しくお願い致します。



(幻冬舎:<https://www.gentosha-book.com/products/たすき/>)

## お盆期間中の外来診療について

お盆期間中も通常通り診療いたします

8/7	8	9	10	11	12	13	14	15
土	日	月	火	水	木	金	土	日
休診	休診	休診	通常診療	通常診療	通常診療	通常診療	休診	休診